# マルチメディア
## ユーザ ガイド

改訂第 1 版：2009 年 2 月

初版：2008 年 12 月

製品番号：505493-292

**製品についての注意事項**

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデル
に共通の機能について説明します。一部の
機能は、お使いのコンピュータでは使用で
きない場合があります。

# 目次


**1 マルチメディア機能**

マルチメディア コンポーネントの確認 ..... 2
音量の調整 ..... 4
メディア操作機能の使用 ..... 6
メディア ボタンの使用 ..... 6
前/早戻しボタン ..... 6
再生/一時停止ボタン ..... 6
次/早送りボタン ..... 7
停止ボタン ..... 7
メディア操作ホットキーの使用 ..... 7

**2 マルチメディア ソフトウェア**

[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用 ..... 9
プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用 ..... 10
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール ..... 11

**3 オーディオ**

外付けオーディオ デバイスの接続 ..... 13
オーディオ機能の確認 ..... 14

**4 動画**

外付けモニタまたはプロジェクタの接続 ..... 16
HDMI デバイスの接続 ..... 17
HDMI を使用したオーディオの設定 ..... 17
コンピュータに搭載されているグラフィックス カードの種類の確認 ..... 17
HDMI をオーディオ再生の初期デバイスに設定 ..... 18
テレビの鑑賞（一部のモデルのみ） ..... 19

**5 オプティカル ドライブ**

取り付けられているオプティカル ドライブの確認 ..... 21
オプティカル ディスクの使用 ..... 22
正しいディスク（CD、DVD、および BD）の選択 ..... 23
CD-R ディスク ..... 23

CD-RW ディスク ........ 23
DVD±R ディスク ........ 23
DVD±RW ディスク ........ 23
LightScribe DVD+R ディスク ........ 23
ブルーレイ ディスク ........ 24
音楽の再生 ........ 25
動画の再生 ........ 26
DVD の地域設定の変更 ........ 27
CD または DVD の作成（書き込み） ........ 28
CD、DVD、または BD の取り出し ........ 29

**6 Web カメラ**

**7 トラブルシューティング**
オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出せない場合 ........ 32
コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合 ........ 33
ディスクが再生できない場合 ........ 34
ディスクが自動再生されない場合 ........ 35
動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合 ........ 36
動画が外付けディスプレイに表示されない場合 ........ 37
ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合 ........ 38
DVD または BD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合 ........ 38
デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合 ........ 38
最新の Windows デバイス ドライバの入手 ........ 39
最新の HP デバイス ドライバの入手 ........ 39

**索引 ........ 40**

# 1 マルチメディア機能

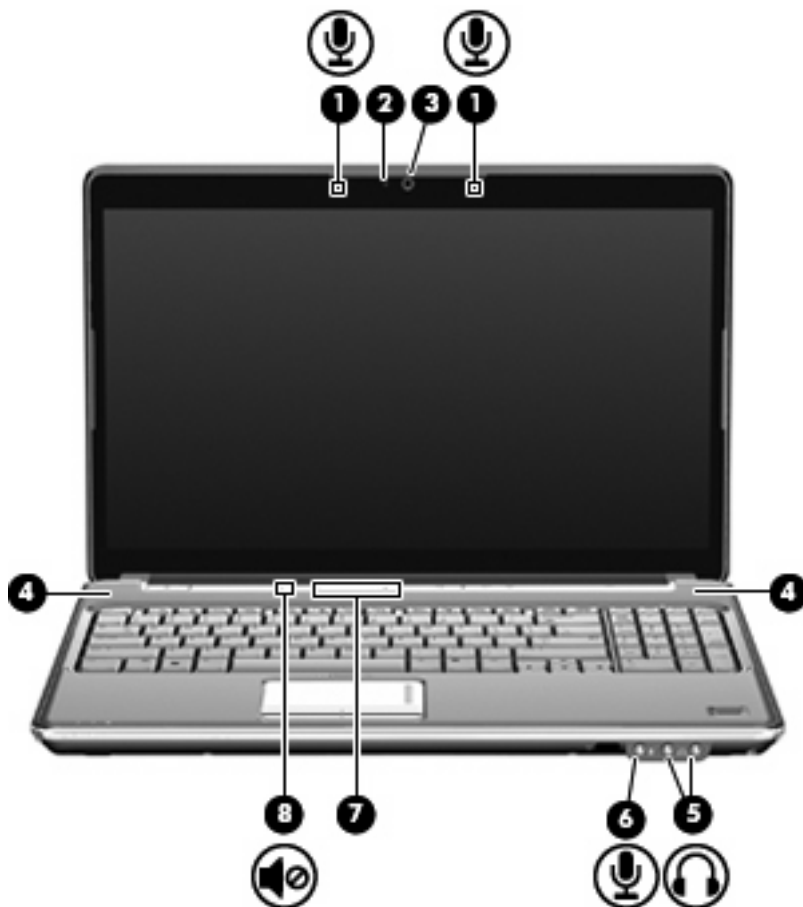
お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカ
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画を撮影したり共有したりできる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるマルチメディア ボタンとホットキー

**注記：** お使いのコンピュータによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピュータに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

# マルチメディア コンポーネントの確認

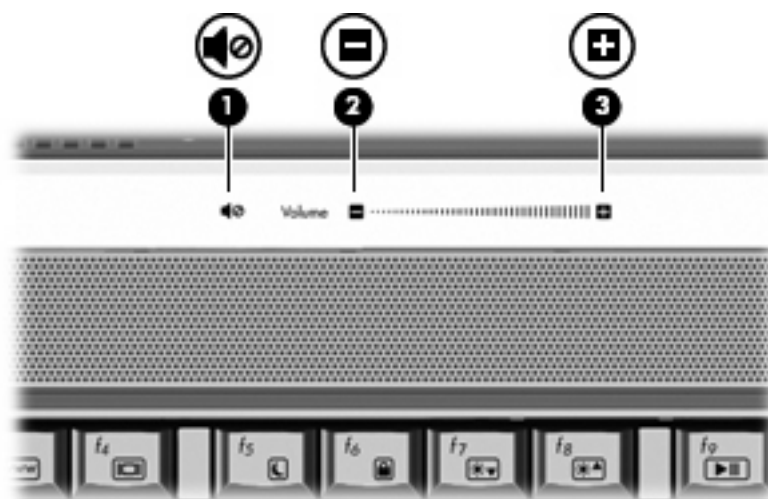
以下の図と表で、コンピュータのマルチメディア機能について説明します。

| 名称 | | 説明 |
|---|---|---|
| (1) | 内蔵マイク（×2） | サウンドを録音します |
| (2) | Web カメラ ランプ | 点灯：Web カメラを使用しています |
| (3) | Web カメラ | サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします |
| (4) | スピーカ（×2） | サウンドを出力します |
| (5) | オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ（×2） | 別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します<br><br>**警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください<br><br>**注記：** ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピュータ本体のスピーカは無効になります |

| 名称 | | 説明 |
|---|---|---|
| （**6**） | オーディオ入力（マイク）コネクタ | 別売のコンピュータ用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します |
| （**7**） | 音量調整スライダ | スピーカの音量を調整します。左にスライドさせると音量が下がり、右にスライドさせると音量が上がります。スクロール ゾーンのマイナス記号（－）をタップして音量を下げたり、プラス記号（＋）をタップして音量を上げたりすることもできます |
| （**8**） | ミュート（消音）ボタン | スピーカの音を消したり音量を元に戻したりします |

# 音量の調整

音量の調整には、以下のどちらかを使用します。

- コンピュータ本体の音量調整デバイス（一部のモデルのみ）
  - 音を消したり音量を元に戻したりするには、ミュート（消音）ボタン（**1**）を押します。
  - 音量を下げるには、音量調整スライダで指を右から左にスライドさせるか、音量下げアイコン（**2**）を繰り返しタップします。
  - 音量を上げるには、音量調整スライダで指を左から右にスライドさせるか、音量上げアイコン（**3**）を繰り返しタップします。

  注記： 音量ボタンを押すと鳴る音は、工場出荷時に有効に設定されています。この音はComputer Setup（f10）で無効に設定できます。

- Windows®の[ボリューム コントロール]：

  **a.** タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。

  **b.** 音量を調整するには、スライダを上下に移動します。**[ミュート]**アイコンをクリックすると、音が出なくなります。

  または

  **a.** 通知領域の**[音量]**アイコンを右クリックして、**[音量ミキサを開く]**をクリックします。

  **b.** 音量を調整するには、[ボリューム コントロール]列で**[音量]**スライダを上下に移動します。**[ミュート]**アイコンをクリックして音を消すこともできます。

  [音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で操作して表示します。

  **a.** 通知領域で右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。

  **b.** **[通知領域]**タブをクリックします。

  **c.** [システム]アイコンの下の**[音量]**チェックボックスにチェックを入れます。

  **d.** **[OK]**をクリックします。

- プログラムの音量調整機能

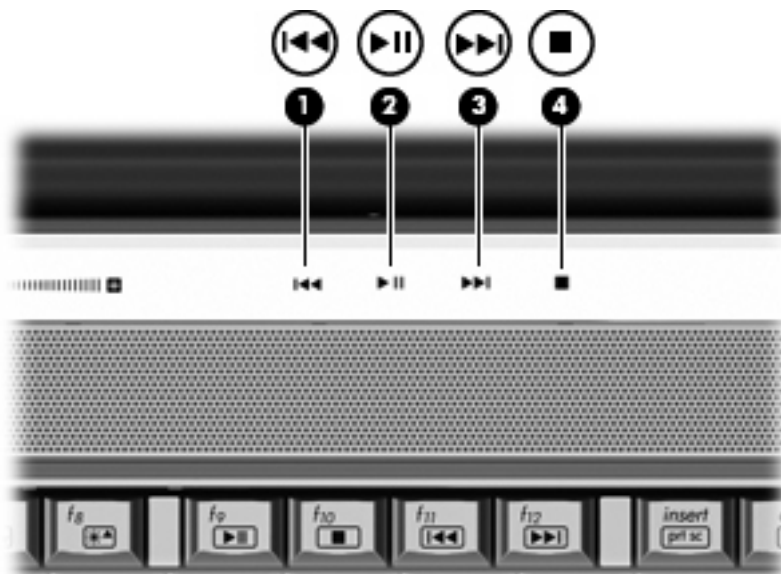
プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

# メディア操作機能の使用

メディア操作ホットキーとメディア ボタン（一部のモデルのみ）は、オプティカル ドライブ内のオーディオ CD や DVD の再生を制御します。

## メディア ボタンの使用

ディスクがオプティカル ドライブに挿入されているときのメディア ボタンの機能を、以下の図と表に示します。

- 前/早戻しボタン（**1**）
- 再生/一時停止ボタン（**2**）
- 次/早送りボタン（**3**）
- 停止ボタン（**4**）

### 前/早戻しボタン

| ディスクの状態 | ボタン | 機能 |
|---|---|---|
| 再生中 | 前/早戻しボタン | 前のトラックまたはチャプタを再生します |
| 再生中 | fn ＋前/早戻しボタン | 再生を早戻しします |

### 再生/一時停止ボタン

| ディスクの状態 | ボタン | 機能 |
|---|---|---|
| 再生していない | 再生/一時停止ボタン | ディスクを再生します |
| 再生中 | 再生/一時停止ボタン | 再生を一時停止します |

### 次/早送りボタン

| ディスクの状態 | ボタン | 機能 |
|---|---|---|
| 再生中 | 次/早送りボタン | 次のトラックまたはチャプタを再生します |
| 再生中 | fn ＋次/早送りボタン | 再生を早送りします |

### 停止ボタン

| ディスクの状態 | ボタン | 機能 |
|---|---|---|
| 再生中 | 停止ボタン | 再生を停止します |

## メディア操作ホットキーの使用

メディア操作ホットキーは、fn キー（**1**）とファンクション キー（**2**）の組み合わせです。

- オーディオ CD または DVD が再生中でない場合、fn ＋ f9（**3**）を押すとディスクが再生されます。
- オーディオ CD または DVD の再生中は、以下のホットキーを使用できます。
  - ディスクの再生を一時停止または再開するには、fn ＋ f9（**3**）を押します。
  - ディスクを停止するには、fn ＋ f10（**4**）を押します。
  - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプタを再生するには、fn ＋ f11（**5**）を押します。
  - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプタを再生するには、fn ＋ f12（**6**）を押します。

# 2 マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、[HP MediaSmart]およびプリインストールされている他のマルチメディア ソフトウェアの詳細について説明します。

# [HP MediaSmart]ソフトウェアの使用

[HP MediaSmart]によって、お使いのコンピュータが持ち運びのできるエンターテイメント ツールに変わります。[HP MediaSmart]を使用すると、音楽や DVD および BD の動画を楽しむことができます。また、インターネット TV や放送中のテレビの視聴（一部のモデルのみ）、および写真コレクションの管理や編集を行うことができます。

**注記：** 内蔵 TV チューナ（一部のモデルのみ）または外付け TV チューナ（別売）を使用して、放送中のテレビをコンピュータで視聴、録画、および一時停止できます。

[HP MediaSmart]は以下の機能を備えています。

- インターネット TV（一部のモデルのみ）：インターネット接続によって、従来のさまざまなテレビ番組とチャンネルに加え、コンピュータにストリーミング配信される HP-TV チャンネルもフルスクリーンでご覧いただけます。
- プレイリストのアップロードに対応：
    - 写真を Snapfish などのインターネット上の写真アルバムにアップロードできます。
    - ホーム ビデオを YouTube に直接アップロードできます。
    - Web カメラで作成した動画をインターネットにアップロードできます。
- Pandora インターネット ラジオ（北米のみ）：あなただけのために選ばれた音楽を、インターネット経由でストリーミングできます。

[HP MediaSmart]を起動するには、コンピュータのデスクトップにある[HP MediaSmart]アイコンをダブルクリックします。

[HP MediaSmart]の使用方法について詳しくは、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択してから、[検索]ボックスに「MediaSmart」と入力します。

# プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]でオーディオ CD を再生する場合は、**[Windows Media Player]**をクリックします。

注記：　サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

# ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の操作を行います。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

**注記：** コンピュータに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

# 3 オーディオ

お使いのコンピュータでは、以下のようなさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピュータのスピーカおよび接続した外付けスピーカを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）または FM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）

## 外付けオーディオ デバイスの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカ、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピュータの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピュータの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバがある場合は、そのドライバをインストールします。

**注記：** ドライバは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバータとして機能する、必須のプログラムです。

# オーディオ機能の確認

お使いのコンピュータのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[ハードウェアとサウンド]**をクリックします。
3. **[サウンド]**をクリックします。
4. [サウンド]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、**[テスト]**ボタンをクリックします。

   スピーカまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピュータの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[サウンド レコーダ]**の順に選択します。
2. **[録音の開始]**をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]または[HP MediaSmart]を開き、サウンドを再生します。

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

▲ コンピュータのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[サウンド]**アイコンを右クリックするか、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]**アイコンの順に選択します。

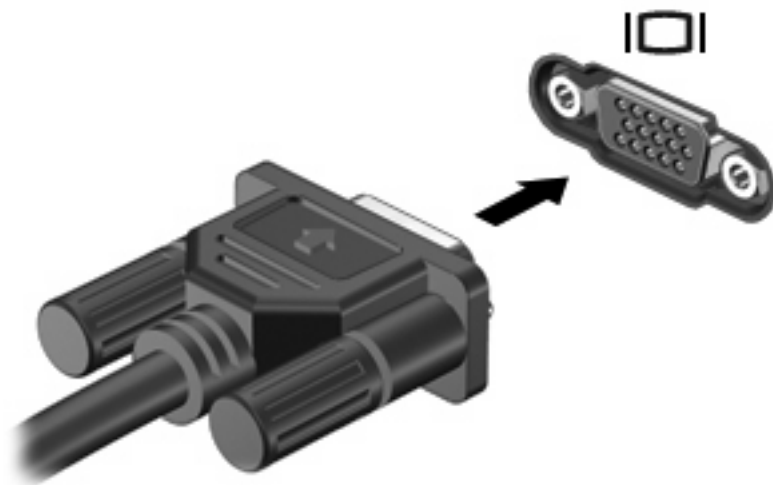
# 4　動画

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続
- HD 対応テレビを含むテレビの視聴（一部のモデルのみ）

# 外付けモニタまたはプロジェクタの接続

外付けモニタ コネクタは、外付けモニタやプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピュータに接続するためのコネクタです。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニタ コネクタに接続します。

**注記：** 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、fn + f4 キーを押して画像をデバイスに転送します。fn + f4 を繰り返し押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

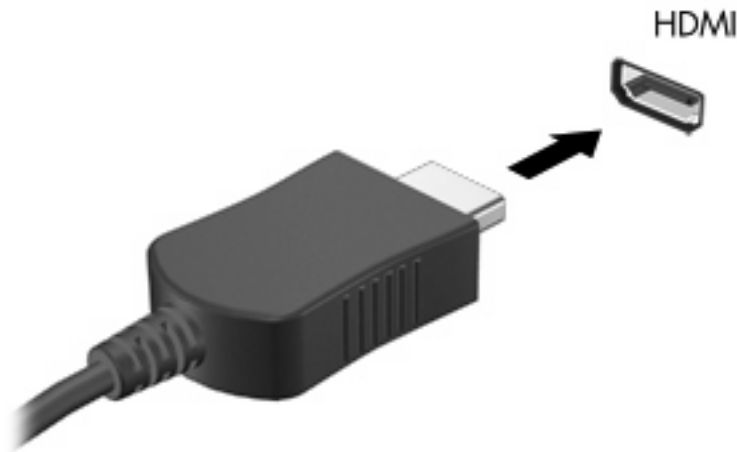
# HDMI デバイスの接続

コンピュータには、HDMI（High Definition Multimedia Interface）コネクタが搭載されています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売の動画またはオーディオ デバイスとコンピュータを接続するためのコネクタです。

コンピュータは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピュータ本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

**注記：** HDMI コネクタを使用してビデオ信号を伝送するには、一般の電器店で販売されている HDMI ケーブルを別途購入する必要があります。

HDMI コネクタに動画またはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピュータの HDMI コネクタに接続します。

2. 製造元の説明書等の手順に沿って操作し、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピュータに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピュータの fn ＋ f4 キーを押します。

## HDMI を使用したオーディオの設定

最高の音質を得るには、お使いのコンピュータの HDMI コネクタに HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続し、メディア プログラムに[HP MediaSmart]を使用します。

また、コンピュータに搭載されているグラフィックス カードの種類を確認し、そのグラフィックス カードに対応したオーディオ再生の初期デバイスを設定しておく必要があります。

### コンピュータに搭載されているグラフィックス カードの種類の確認

▲ コンピュータのキーボードのラベルを確認します。

または

1. **[スタート]**→**[コンピュータ]**→**[システムのプロパティ]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックしてから、**[ディスプレイ アダプタ]**の横のプラス（＋）記号をクリックします。

## HDMI をオーディオ再生の初期デバイスに設定

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**アイコンの順に選択します。
2. **[再生]**タブ→**[デジタル出力デバイス（HDMI）]**→**[既定値に設定]**の順にクリックします。
3. **[OK]**をクリックします。
4. [HP MediaSmart]を起動するか、すでに実行中の場合は再起動します。

# テレビの鑑賞（一部のモデルのみ）

お使いのコンピュータに内蔵 TV チューナ（一部のモデルのみ）が搭載されているか、別売の外付け TV チューナが接続されている場合があります。TV チューナを使用すると、放送中のテレビをコンピュータで視聴、録画、および一時停止できます。また、お使いのコンピュータに内蔵 TV チューナが搭載されている場合は、2 つのリモコンがコンピュータに付属しています。

- **HP モバイル リモコン**：オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクの再生などの機能を遠隔操作するもので、ExpressCard スロット内に収納できます。
- **HP マルチメディア リモコン**：テレビの視聴など HP モバイル リモコンより複雑な機能を遠隔操作できますが、サイズは HP モバイル リモコンよりも大きくなります。

コンピュータでテレビを視聴できるようにするには、コンピュータに付属の冊子または別売の外付け TV チューナに付属の製造元の説明書に書かれている手順に沿って TV チューナが設定されていることを確認してください。

TV チューナまたはインターネットのライブ ストリーミング放送を使用して、[HP MediaSmart]のテレビ モードでテレビを視聴できます。また、録画のスケジュールを作成し、録画したテレビ番組をコンピュータ上で再生することもできます。

注記： [HP MediaSmart]のテレビ モードの機能には、インターネットのストリーミング放送のように一部地域で利用できないものがあります。また、高速インターネット接続など追加のハードウェアまたはサービスが必要になる場合もあります。

[HP MediaSmart]のテレビ モードは、以下のオプションに対応しています。使用できるオプションは国や地域によって異なる場合があります。

- **[Slingbox]**：自宅のテレビから、現在放送されているテレビ番組を表示します。
- **[EPG]**：EPG（電子番組ガイド）を表示します。
- **[放送中のテレビ]**：放送中のテレビ番組を再生します。
- **[Recorded TV]（録画したテレビ番組）**：テレビから録画した番組を表示します。
- **[スケジュール]**：現在のすべての録画スケジュールを表示します。
- **[Internet TV]（インターネット TV）**：インターネットから、現在放送されているテレビ番組を表示します。

ここでは、HP マルチメディア リモコンを使用して[HP MediaSmart]のテレビ モードを開いて、テレビを視聴する方法について説明します。

放送中のテレビ番組を観るには、以下の操作を行います。

1. HP マルチメディア リモコンの[TV]ボタンを押して、[HP MediaSmart]のテレビ モードを開きます。

   注記： 実行中のプログラムが[Windows Media Center]の場合、HP マルチメディア リモコンを使用しても[HP MediaSmart]は起動しません。代わりに、[Windows Media Center]のテレビ録画機能が開きます。[HP MediaSmart]でマルチメディア リモコンを使用するには、[Windows Media Center]を閉じてください。

2. 矢印キーを使用してソース名を選択し、[OK]ボタンを押します。テレビ放送の再生がプレビュー ウィンドウで開始されます。

注記： キーボードを使用してこれらの操作を実行することもできます。

[HP MediaSmart]を使用してテレビを視聴する方法について詳しくは、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択してから、[検索]フィールドに「MediaSmart」と入力します。

# 5 オプティカル ドライブ

お使いのコンピュータには、コンピュータの機能を拡張するオプティカル ドライブが搭載されています。コンピュータに搭載されているデバイスの種類を識別して、その機能を確認します。オプティカル ドライブを使用すると、データ ディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりできます。お使いのコンピュータにブルーレイ ディスク ROM ドライブが内蔵されている場合は、ディスクから HD 対応動画を再生することもできます。

## 取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲ **[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択します。

お使いのコンピュータにインストールされているオプティカル ドライブを含むすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- DVD-ROM ドライブ
- DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- LightScribe DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- スーパーマルチ DVD±RW 対応ブルーレイ ディスク ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- スーパーマルチ DVD±RW 対応 LightScribe ブルーレイ ディスク ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）

注記： 一覧には、お使いのコンピュータでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。

# オプティカル ディスクの使用

オプティカル ディスク（CD、DVD、および BD）には、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD および BD は、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。お使いのオプティカル ドライブが BD ドライブであれば、ブルーレイ ディスクの読み取りもできます。

**注記：** ここに示すオプティカル ドライブによっては、コンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブのすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができるものもあります。

| オプティカル ドライブの種類 | CD-RW への書き込み | DVD±RW/R への書き込み | DVD+R DL への書き込み | LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み |
|---|---|---|---|---|
| DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ | 可 | 可 | 不可 | 不可 |
| DVD±R/RW ドライブ（2 層記録（DL）対応） | 可 | 可 | 可 | 不可 |
| LightScribe DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応） | 可 | 可 | 可 | 可 |
| スーパーマルチ DVD±RW 対応ブルーレイ ディスク ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応） | 可 | 可 | 可 | 不可 |
| スーパーマルチ DVD±RW 対応 LightScribe ブルーレイ ディスク ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応） | 可 | 可 | 可 | 可 |

**注意：** オーディオまたは動画の劣化、情報または再生機能の損失を防ぐため、オプティカル ディスクの読み取りや書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

# 正しいディスク（CD、DVD、および BD）の選択

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD、DVD、および BD）に対応しています。デジタル データの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD および BD は、主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップのために使用します。DVD および BD のフォーム ファクタは CD と同じですが、はるかに大きい容量を扱うことができます。

**注記：** お使いのコンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、この項目で説明している一部のオプティカル ディスクに対応していない場合もあります。

## CD-R ディスク

CD-R（一度のみ書き込み可能）ディスクは、永続的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピュータのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

## CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要のあるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

## DVD±R ディスク

DVD±R ディスクは、大量の情報を永久的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

## DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最も適しています。

## LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤでの読み取りに

対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

## ブルーレイ ディスク

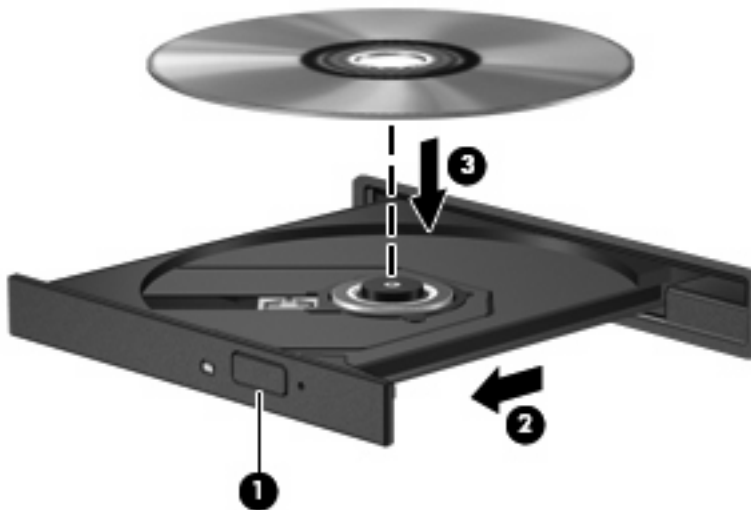
BD とも呼ばれるブルーレイ ディスクは、HD 対応動画などのデジタル情報を保存する高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上の容量です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くの容量になります。

**注記：** ブルーレイは新技術を搭載した新しいフォーマットであるため、一部のディスク、デジタル接続、互換性、またはパフォーマンスに問題が起こる可能性がありますが、これは欠陥ではありません。すべてのシステム上での完全な再生は保証されていません。

# 音楽の再生

1. コンピュータの電源を入れます。
2. オプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

   注記： ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。
7. 自動再生の動作を設定していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。[HP MediaSmart]または[Windows Media Player]を選択します。これらはどちらもお使いのコンピュータにプリインストールされています。

注記： ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを開始した場合、以下のことが発生します。

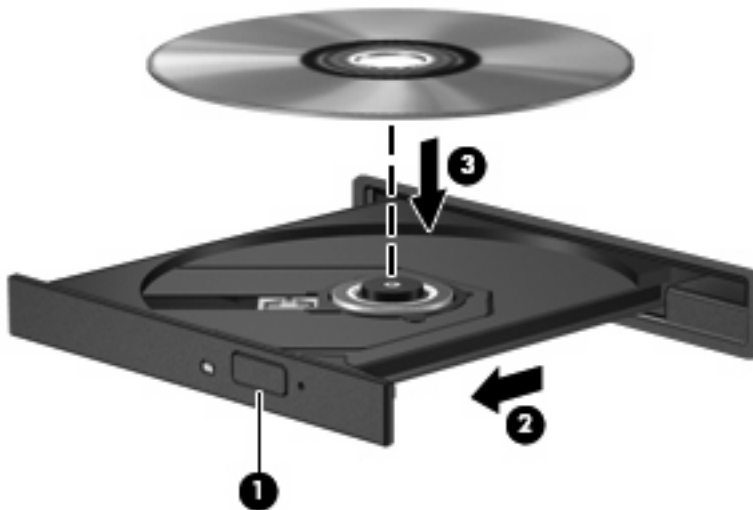
- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CD または DVD を再起動し、オーディオまたは動画の再生を再開しなければならない場合があります。

# 動画の再生

オプティカル ドライブを使用して、ディスクの動画を鑑賞できます。別売のブルーレイ ディスク ROM ドライブがコンピュータに搭載されている場合は、HD 対応動画の鑑賞もできます。

1. コンピュータの電源を入れます。
2. オプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

   **注記：** ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。
7. コントロール パネルの DVD ボタンを押して、[HP MediaSmart]の DVD 再生機能を起動します。

**注記：** HD 対応動画を鑑賞するには、[HP MediaSmart]ソフトウェアを使用する必要があります。標準的な形式の動画を再生するには、[HP MediaSmart]またはその他のマルチメディア ソフトウェアを使用できます。

**注記：** 最適な状態で使用するためには、BD の再生中は AC アダプタを外部電源に接続していることを確認してください。

# DVD の地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コンピュータ]**→**[システムのプロパティ]**の順に選択します。
2. 左側のパネルで、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

   **注記：** Windows には、コンピュータのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント調整機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブで変更を行います。
6. **[OK]**をクリックします。

# CD または DVD の作成（書き込み）

お使いのコンピュータに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータ、動画、およびオーディオ ファイルを書き込むことができます。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインを参照してください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

注記： [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- 通常、家庭用のシステムで使用される DVD プレーヤは、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。

   注記： サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

4. 作成する CD または DVD の種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. **[スタート]**を右クリックしてから**[エクスプローラ]**をクリックし、元のファイルが保存されているフォルダに移動します。
6. フォルダを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

手順について詳しくは、それぞれのソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

△ 注意： 著作権に関する警告に従ってください。コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

# CD、DVD、または BD の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

**注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。

3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

# 6 Web カメラ

お使いのコンピュータには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラは、動画の取り込みと共有を可能にする入力デバイスです。

Web カメラを使用するには、デスクトップの**[HP MediaSmart]**アイコンをクリックし、[HP MediaSmart]の[SmartMenu]から該当するアイコンを選択して**[Webcam]**をクリックします。

注記： [HP MediaSmart]の使用方法について詳しくは、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順にクリックし、[検索]ボックスに「MediaSmart」と入力します。

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラを使用するときには以下のガイドラインを参考にしてください。

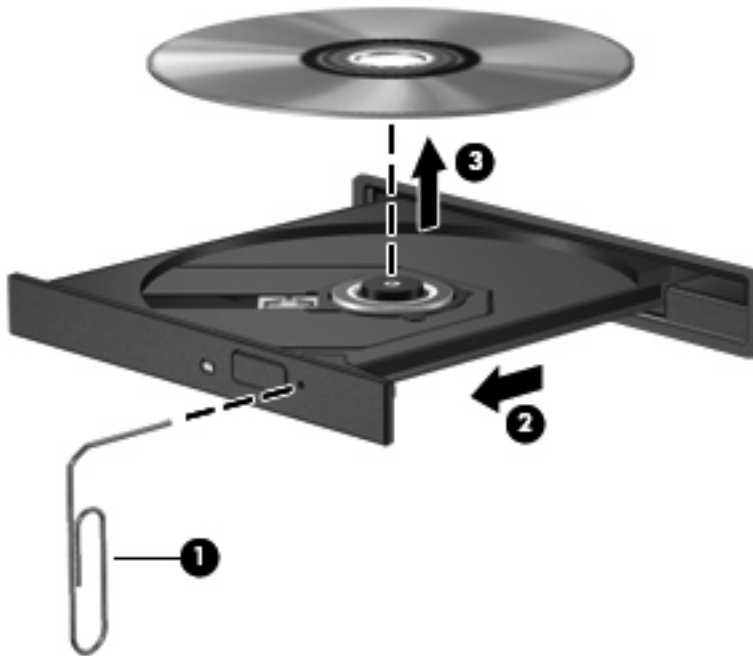
- マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。
- できる限りカメラの後方から明るい光源を当て、写真領域の外に移動してください。

# 7　トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

# オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

**注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。

4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

# コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合

コンピュータが取り付けられているデバイスを検出しない場合、そのデバイスのドライバ ソフトウェアがないか、壊れている可能性があります。オプティカル ドライブが検出されていないことが疑われる場合は、そのオプティカル ドライブが[デバイス マネージャ]ユーティリティに一覧表示されていることを確認してください。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに「デバイス マネージャ」と入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上に一覧表示されます。
3. 検索結果の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。ユーザ アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。

   ドライブが表示されていない場合は、「デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合」の説明に沿って、デバイス ドライバをインストール（または再インストール）します。

## ディスクが再生できない場合

- CD、DVD、または BD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD、DVD、または BD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中心から外側に向けて拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電気店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下のようになります。

  ◦ 再生が再開します。

  または

  ◦ マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。
- システムのリソースを増やします。
  ◦ プリンタやスキャナなどの外付けデバイスの電源を切り、外付けカメラや Pocket PC などの外付け携帯デバイスの電源ケーブルを抜きます。外付けデバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
  ◦ デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

    1. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。

    2. 設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

## ディスクが自動再生されない場合

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]**の順に選択します。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[保存]**をクリックします。

   これで、CD、DVD、または BD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

# 動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- **[再生]**ボタンを押します。誤って動画を停止している場合があります。
- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
  - インターネットからログオフします。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。

    1. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。

    2. 設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。
  - プリンタ、スキャナ、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

# 動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピュータのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、fn ＋ f4 を 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニタの設定を行います。
   a. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。
   b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

注記： 両方のディスプレイを使用する場合は、動画の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

## ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャ]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバを再インストールします。

## DVD または BD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

[HP MediaSmart]を使用して DVD または BD を再生してください。[HP MediaSmart]はコンピュータにインストールされています。また、HP の Web サイト、http://www.hp.com/jp/からも入手できます。

## デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに「デバイス マネージャ」と入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上に一覧表示されます。
3. 検索結果の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。ユーザ アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]で、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、アンインストールまたは再インストールするドライバの種類（DVD/CD-ROM、モデムなど）の横にあるプラス記号（＋）をクリックします。
5. 表示されているドライバをクリックし、delete キーを押します。確認のメッセージが表示されたら、ドライバを削除することを確認します。ただし、コンピュータは再起動しないでください。

   削除するその他のすべてのドライバでこの操作を繰り返します。
6. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、ツールバーの**[ハードウェア変更のスキャン]**アイコンをクリックします。Windows はシステムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバを必要とするデバイスに対して初期設定のドライバをインストールします。

**注記：** コンピュータを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。

7. 必要に応じて[デバイス マネージャ]を再び開き、ドライバが表示されていることをもう一度確認します。
8. プログラムを再度実行します。

初期設定のデバイス ドライバをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合、以下の項目の手順に沿ってドライバを更新する必要があります。

## 最新の Windows デバイス ドライバの入手

[Microsoft Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバを入手できます。この Windows の機能では、Windows オペレーティング システムおよび Microsoft®社のその他の製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザを開いて、http://www.microsoft.com/ja/jp/default.aspx を表示します。
2. **[セキュリティ&アップデート]**をクリックします。
3. **[Microsoft Update]**をクリックしてコンピュータのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。
4. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。ユーザ アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
5. **[変更する]**をクリックして、[Microsoft Update]で Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品のアップデートを確認する時間を選択します。
6. コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

## 最新の HP デバイス ドライバの入手

HP デバイス ドライバを入手するには、以下のどちらかの操作を行います。

[HP Update Utility]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Update]**（HP アップデート）の順に選択します。
2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[設定]**をクリックし、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]**（次へ）をクリックして HP のソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザを開いて、http://www.hp.com/jp/support/を表示します。
2. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピュータの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
3. enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

# 索引


**B**
BD ドライブ　22

**C**
CD
　書き込み　28
　挿入　25
　取り出し　29
CD ドライブ　22

**D**
DVD
　書き込み　28
　挿入　25
　地域設定の変更　27
　取り出し　29
DVD ドライブ　22
DVD の地域設定　27

**H**
HDMI
　接続　17
　設定　17
HDMI コネクタ　17
HD 対応デバイス、接続　17
HP MediaSmart
　起動　9
[HP MediaSmart]ソフトウェア　9

**W**
Web カメラ　2
Web カメラ、使用　30
Web カメラ ランプ　2

**い**
イヤフォン　2

**お**
オーディオ機能　12
オーディオ機能、確認　14
オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ　2
オーディオ デバイス、外部接続　13
オーディオ入力（マイク）コネクタ　3
オプティカル ディスク
　使用　22, 23
　挿入　25
　取り出し　29
　ブルーレイ　24
オプティカル ドライブ
　確認　21
　使用　21
音量調整スライダ
　位置　3
音量、調整　4

**か**
確認、オーディオ機能　14

**こ**
コネクタ
　HDMI　17
　オーディオ出力（ヘッドフォン）　2
　オーディオ入力（マイク）　3
　外付けモニタ　16

**す**
スピーカ　2

**せ**
設定、HDMI　17

**そ**
外付けオーディオ デバイス、接続　13
外付けモニタ コネクタ　16
ソフトウェア
　HP MediaSmart　9
　Windows Media Player　10
　インストール　11
　マルチメディア　10

**ち**
地域コード、DVD　27

**て**
デバイス ドライバ
　HP ドライバ　39
　Windows ドライバ　39
テレビ、視聴　19
テレビの視聴　19

**と**
動画
　再生　26
トラブルシューティング
　HP デバイス ドライバ　39
　Windows ドライバ　39
　オプティカル ディスク トレイ　32
　オプティカル ドライブ検出　33
　外付けディスプレイ　37
　ディスク書き込み　38
　ディスクの再生　34, 35
　デバイス ドライバ　38

**な**
内蔵マイク、位置　2

**ひ**
ビデオ機能　15

ふ
ブルーレイ ディスク（BD）
　挿入　25
　取り出し　29
ブルーレイ ドライブ　22
プロジェクタ、接続　16

へ
ヘッドフォン（オーディオ出力）コネクタ　2
ヘッドフォン　2

ほ
ボタン
　再生/一時停止　6
　次/早送り　6
　停止　6
　前/早戻し　6
　ミュート（消音）　3, 4

ま
マイク、内蔵　2
マルチメディア コンポーネント、確認　2
マルチメディア ソフトウェア
　インストール　11

み
ミュート（消音）ボタン
　位置　3

め
メディア操作ホットキー　7
メディア ボタン　6

も
モニタ、接続　16
問題、解決　31